

レフェリーレポート

平成 27 年 5 月 21 日 高橋 由美

・参加大会

平成 27 年九州学生ハンドボールリーグ春季大会（学生女子）

平成 27 年 5 月 2 日（土） 福岡大学

さつきインカップ（高校男子）

平成 27 年 5 月 3 日（日）～5 日（火） 雄城台高校、舞鶴高校、大原総合体育館

【レポート】

今回 4 日間に渡り、学生女子と高校男子それぞれのカテゴリーを吹く機会を頂きました。学生女子は 1 部 2 部それぞれ 1 試合ずつ吹かせて頂きました。

1 部の試合は力の差もあり、きわどいジャッジをする場面はあまりなく、また自分のプレーヤー感覚と近いところもあり吹くことにあまり抵抗はありませんでした。ゲームに際しては、①ペアとのコンタクト、②笛を吹いた後の方向指示等の基礎の部分、③ゲームの始まりにファールの線引きをすること、④ボールが無いところでの接触プレー等広い視野を持つこと、を意識して臨みました。反省点は、①パッシブの予告合図を示した後のターンオーバーのタイミング、②もっとジェスチャーをはっきり大きくする、③エリア内防御の判断（接触のスタート位置）です。

2 部の試合は、試合途中まで 1 点を争うゲームであったことや正しくルールを理解していない選手もいたため、予測して判断する事が難しかったです。反省点は、反則をした選手のみではなく、まわりの人たちにもわかるように大きな声で指示やジェスチャーができなかったことです。

高校男子の試合では、全国トップレベルの試合を担当させて頂きました。まず、男女でスピードやパワーも全く違うので目が慣れるまで抵抗が大きかったです。反省点は、①きちんと正しい身振りや走り方が意識出来なかった事、②判定に迷いがありそれが態度に出ていた事、③笛の強弱、④1 試合を通して判断に差があったこと、⑤クリアチャンスの見極め、⑥ 7m のジャッジをした後、その理由の説明不足、⑦オーバーステップの判断、⑧オフエンディングファールの判断、⑨アドバンテージを見るのか早くとめるのかの判断、⑩試合途中で勝負がついた展開での判定、⑪プレーのねらいを予測してちゃんと見える位置取りをする等です。

自分自身に余裕がなく迷いが多く沢山の反省点があり、またご指導も頂きました。今回、沢山の機会を頂き、本当に良い経験をさせて頂いた事に感謝したいと思います。ご指導頂いた事や、上記の反省点を今後を活かしたいと思います。

【反省総括】

・基礎面

- ①大きくはっきりした正しい走り方、身振りで方向指示やジェスチャーをする
- ②笛に強弱を付ける
- ③反則の判断ジャッジをした後の説明をする
- ④ゲーム展開を予測し、見える位置、距離に移動する
- ⑤毅然とした態度で吹く（ジャッジの迷いや自身の無さを態度に出さない）

・判断面

- ①パッシブの予告合図の後のターンオーバーのタイミング
- ②クリアチャンスの見極め
- ③エリア内防御の判断（接触のスタート位置）
- ④オーバーステップの判断
- ⑤オフエンシングファールの判断
- ⑥アドバンテージをみるのか早く吹くかの判断

・その他

- ①1 試合を通して判断に差が出ないようにする（基準を作る）
- ②試合途中で勝負がついた展開での判定
- ③ペアとの役割分担と試合中のコミュニケーション
- ④選手とのコミュニケーション
- ⑤ルールを勉強する